

# 園だより

2025年2月号  
2025年2月3日発行

## 保育参加ありがとう



黎明保育園では7月から1月までの期間に、保護者の皆さんの保育参加を受け入れてきました。毎日通っている保育園で、我が子の様子もお友達の様子も、そして職員の様子も知ることができる貴重な経験です。ここ最近はママやパパだけでなく、園児のお兄ちゃんやおじさんなども参加してくれることもあります。そして、どの方も参加後には「先生方の対応は本当にすごいです！感謝です」と感想を書いてくださいます。お家では自分の子だけで“てんやわんや”なのに、たくさんのおとも達をみている保育士はすごい！と

保育園は集団生活ですから子ども同士の社会があります。お家での姿と園での姿は違うことが多いものです。パパやママの前では甘えてわがままに主張する子でも、子ども同士の中では我慢して自分を抑え、結構頑張っているものです！勿論、家でも外でもあまり変わらないという子もいますが、保育参加をすると我が子の違った姿を発見したり、子ども同士の関係も垣間見れるのですね。そして、大勢の中にも一人一人の子どもをちゃんと聴いて、答えている先生の姿に感動するのでしょうか。

私も20年間は現場の保育士でしたので、22人の4歳、5歳児を一人で担任していた時もありました。「苦手なものも食べさせられて怖い先生だった！」といわれています。今では3人の孫（5歳3歳2歳）でさえ「ひとりで3人は大変すぎてみれません」と宣言しています。現在では、食事もお昼寝も無理強いせず、ひとり一人にあった丁寧な対応を心がけていますね。大人の人数も以前に比べて多く配置されていて、大勢の眼差しの中で育てている子ども達です。少子化が進み、地域社会から子どもが減っていますが、せめて保育園ではにぎやかな子どもの声が響く場所でありたいです。

保育参加を通して“育ちあう子どもの姿”を知っていただき、子ども達がどのように成長していくのかを、自分の子にも周りの子にも、優しいまなざしで見守ってほしいと願います。

園長 三幣典子

「そして、子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福された。」

(マルコ福音書 10章 16節)